

皆野長瀨ロータリークラブ

週報

- ◇例会日 第1・第3木曜日 12:30~13:30 第2・第4木曜日 18:30~19:30
- ◇例会場 長瀨レクリエーションホテル 養浩亭
- ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀨町長瀨1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134
e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp
- ◇点 鐘 山田 利明会長
- ◇ソング 奉仕の理想



世界への
プレゼントになろう

Be a gift to the world

第1350回例会 平成28年2月18日(木)

会長の時間

山田 利明

皆さん、こんにちは。今日は畝さんに「ためになる話」をしてもらいたいと頼んだあります。またその前に3月17日は新井剛太郎さんが新しく作った万葉の郷という新しい施設見学を計画しております。それについて剛太郎さんから説明をして頂きます。



会長の時間ですが、最近、日本に外国人がいっぱい来ているとは聞いておりましたが、私も実感して参りました。今週の月、火と仕事を休んで野沢温泉に行つて来ました。スキー場の宿なので高級なホテルではないのですが、外国人の人が半分くらい宿泊していました。家族で経営しているような小さなホテルですが、フロントには外国人がいて対応してくれます。我々が行つてもその人が対応します。それだけ外国人観光客が多いという事だと思います。リフトに乗って上に行つても、滑っている人が外国人です。オーストラリアは今夏休みで、家族でも仲間でもたくさん来ていました。お昼を食べるのにレストランに入ると、メニューが英語です。日本人は本当に親切なんだと言う話をしましたが、日本に来た感じがなくて嫌なのではないかなとも思いました。外貨を稼いでいるのではないかと。東京を観光して、野沢温泉とか白馬とかに来て何日か泊まって京都をまわつて帰るというパターンが多いそうです。外国に行ったような感じも受けましたが、実は野沢温泉だったと。健康のため、ストレス解消のために行つて来ました。

幹事報告

宮前 英雄



1. 地区事務所より
 - ①幟旗の入った写真の提出について
 - ②日台ロータリー親善会議について
 - ②学友会ニュース
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま

委員会報告

1.

新井 剛太郎会員



3月17日に皆さんに万葉の郷において頂いて例会をやつて頂きたいとお話しましたところ、会長さんに快く引き受けて頂きました。家族同伴でお願いしたいと思います。

万葉の郷は斬新な設計になっています。保育、年寄りのショートをやつたり、デイサービスをやつたりします。平成29年から国で始める地域交流ホールの中で総合事業が始まります。総合事業をやるスペースの中で皆さんにおもてなしが出来たら良いと考えております。

平成30年に医療と福祉の同時改定があります。医療も相当な改定があると思います。福祉についてはもっとすごい減額改定があるのではないかとされています。その中でお世話をしていかなければならないと。団塊の世代が高齢化してきますので、取り組みも難しくなってきます。そういう中で予算も掛かるので、国も総合事業という形で要支援の人達は市町村に投げたしようと。特養は要介護4、5の人しか入れないと。要介護1、2の人は行く所がありません。これを今度作った地域交流ホールでどのようにやるか頭を悩ませているところです。通所型サービスのAという形でお世話になりたいと思っています。3時間半はやれという事ですので午前、午後1グループずつ。1人で15人を見なさいと。15人を見るというのは非常に大変ですが、そのくらい見ないと給料が出ません。午前9名、午後9名くらいを受け入れて、いろいろなメニューを作つてやっていきたいと思っております。最初にやるのは健康チェックです。秩父市ではマイカルテを作っていますが、それを利用し、最終のチェックは看護師がやると。生活相談は民生委員にやってもらうというふうに考えております。そしてサロンを作つてデイサービスに通えなくなった人達を受け入れたいと思っています。サロンをたくさん作つて、個人のマイカルテを作つていって、それを医者を持っていくと全て分かるというようにしていきたいと思っております。人の世話にならなければ生きていけない人、1人暮らしの老人に対して市

町村と一緒にやっていきたいと考えています。国もお金がないので病気になる前の人をどう支えるか。それには食事が大事なのではないかなと思っています。栄養を考えていきたいと思えます。自立支援という形で専門家が接するという事で安心な日常を送れるようにしていくと。マイカルテを利用して医療と連携を取ると。お金がなかったりする人に対しては他職種協同による個別支援を行うと。市に持ち上げて悩みを無くしていくと。そんな事を考えております。

2. クラブ奉仕委員会 畝 徳治会員



クラブ奉仕部門セミナーに参加しました。要点としては会員を増やすにはどうしたらいいかという話です。当クラブは必要性という事があると思えますが、クラブによっては会員が増えなくてもいいのではないかなと思っている所もあると思えますがという事で、アンケートで退

会理由についてですが、アンケートの回答は当地区の35クラブらしいのですが、退会理由として15人退会の内の9名が亡くなったり健康上の理由だと。自然減で避けられない事があるので、補っていかないと減ってしまうと。今、十分だからいいという考えは止めて欲しいという事がありました。またガバナーは地区ごとに会員増強の数字をまとめていましたが、埼玉は必ずば抜けて少ないです。大都市で増えているのは分かりますが、12月末時点で増強が3名という事です。山形では62人という事です。人口が少ないという言い訳は出来ないのではないかなという事でした。高柳さん自身の印象では会員増強をしている所ではプログラムがしっかりしている所であるという事でした。行事等の計画をしっかり立てて進めていくという事が大事なのではないかなと思えました。

ためになる話 ホームページについて

畝 徳治会

当クラブのホームページを立ち上げて4ヶ月ちょっと経っています。ホームページとはという事ですが、ホームページという言葉は広く伝わっておりますが、不特定多数に情報伝達するための電子的な手段という事です。ホームページという言葉は英語圏で通用するかと言うと、日本語で使っている意味でホームページと言っても通じません。言葉の定義として、電子的な個々のファイルをウェブページと言って、ウェブページが集まった状態をウェブサイトと言います。今日本ではウェブサイトホームページと言っています。たとえば皆野・長瀬ロータリークラブにアクセスすると、最初に表示されるトップページをもとにホームページと言っていました。枝が分かれて全体をウェブサイトになります。日本と数カ国しかホームページという言葉を使わないという事です。紙媒体との違いという事では、情報の更新が容易に出来る。ページのリンク付けが出来る。動きや変化

を付与できるという点です。情報の更新については通信回線につながれているという事で、ネットワーク技術が寄与しているという事になるかと思えます。リンク対応についてはHTML言語が開発されて対応出来ると。情報に動きや変化を与えられるという事はスクリプト、プログラム言語をかけたとかの技術があるからという事です。情報に動きや変化が付与出来るという事例をお話致します。情報の更新が容易に出来るという事に関してですが、更新が容易に出来るという事と訂正や取消が出来るという事は違うという事です。仮に情報を出して間違えていた時に取り消しても間違えた情報は広がってしまいます。取り消しについては紙に較べて困難になります。ホームページ上で動きや変化を付与出来るという事で、基になっているのはファイルの技術とスクリプトというプログラムの技術によるという事です。いろんな技術があります。

当クラブのホームページについてお話します。トップページ

時刻に合わせて挨拶文を作る。月に応じて宣言分を宣言文を変える。スライドショーで地域の特徴を紹介する。

クラブ運営奉仕

文字アニメーションで会長テーマを強調。

クラブの概況

回転する文字で当クラブの区域限界を強調。

会員紹介

回転する文字でロータリークラブ会員として必要な条件を強調。

例会場案内

表題の脇に挿絵のアニメーションを置き、四季で入れ替える。

例会日程・週報

文字アニメーションで例会の位置づけを表示する。月に応じてロータリーの特別月間を表示する。挿絵として四季を描くアニメーションを置く。

委員会・組織

組織の要素を移動する文字で強調。

奉仕プロジェクト

3つのプロジェクト名を文字アニメーションで強調。

R財団・米山奨学

2つの組織名を文字アニメーションで強調。

以上いろいろ工夫していますので、そんな観点から見て頂ければと思います。

ニコニコボックス

♪ 長期の休みを頂き、誠に申し訳なく思っております。本日は久しぶりに出席出来ましたので、ニコニコに投じます。

新井 剛太郎
合計 5,000 円

出席率 83.3%